

KMG活動計画26年度 「夢を持ち 地域と主体的にかかわりながら 学び 自立する湖東の子」～子供たちの自立をめざして(18歳の自立)～

実態	ミッション	目指す姿	26年度		26年度取り組みと来年度に向けて	
			26年度	26年度活動反省		
				26年度活動反省	来年度に向けて	
授業に参加するための準備ができていない児童生徒がいる。 ・授業の中で関わりのある発言がない。 ・指示がないと授業の準備ができない。 ・遅刻してくる。 ・忘れ物があり、学習に参加できない。 学習意欲が育まれている児童生徒がある。 宿題はするが、自主的に予習・復習に取り組む児童生徒が少ない。 各学校では自主学習の推進に力を入れている。	夢を持ち 地域と主体的にかかわりながら 学び 自立する湖東の子	主体的に考える児童・生徒	授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○調息の実施 ・授業の挨拶→調息(小学校では3校時始まり前に実施)→授業の開始で落ち着いた状態で授業に取り組む。・強化週間(7月・9月・10月)において取り組み評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 調息の成果が表れ、スムーズに学習が始まるようになった。 2) 静かになる瞬間が大切である。子どもからも調息するとクラスが落ち着くという声が聞かれた。 3) 学級としてのまとまり、学習規律にも反映している。 4) 中学校の生活ノートの調息のページを参考にして取り組むことで、中学校にスムーズに繋いでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調息の取り組みは各校により実態に違いはあるが、共通実践として継続していきたい。 ○今年度は、落ち着いた授業のスタートを成立させる取り組みであったが、授業づくり委員会として、「話す・聞く・書く」「話し手を見る」「反応する」など、学習中のことにも取り組んでいきたい。 ○来年度は特に、「はい～です。」ときちんと発表すること、顔をあげて人の話を聞くに重点を置いて取り組むこととする。 ○今は3校時のスタートのみであるが、5校時のスタートや1校時のスタートに実施してもよいかもかもしれない。(小学校)
家庭学習			<ul style="list-style-type: none"> ○自主学習の推進 「自学の手引き」「児童生徒のノート」「保護者への啓発資料」等各校より具体物を持ち寄りそれらをもとに研修する。 「自学の手引き」「児童生徒のノート」等をデータ化し、CD-R等共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 家庭学習、また自学の取り組み(ノート、自学のすすめ等)が各校で交換され、児童・生徒の意欲付けに役立った。 2) 各校の基礎学力向上の取り組みについて情報交換し、ドリルタイム、全校で帯び時間をとる等、実践が報告されたことで、来年度以降の各校の取り組みにも参考となった。 3) いかにか「進んで」「自ら」家庭学習に取り組んでいるかについて、日々の評価法についても検討し、共通実践として考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度各校で実施した掲示物などを保管し、来年度は学校間で交換する準備を整えておきたい。 ○自学と併せて予習・復習の意欲付けについても取り組む。 ○家庭学習の手引きについて検討し、どのような形でデータ化できるかを検討していく。 	
自治活動			<ul style="list-style-type: none"> 受け身で、言われたことはできるが、自分たちが考えて行動する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治活動が定着するための集団活動の日常化 ・各学校の自治活動の取り組みを推進する。 ・児童生徒の活動に対して賞賛し、意欲が継続するよう評価に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「活動の日常化」「意欲を継続できるような称賛」「評価」の3項目を共通理解した上で、各学校の生徒会活動、児童活動等を推進してきた。 2) 各校の実践の具体(湖山小:「湖山しぐさ」の一つであるあいさつ運動をすべての委員会で実践継続中。) ○末恒小:「校風を作ろう」と呼びかけた結果、「廊下歩行」を重点にすることに。きちんとできている子どもたちにカードを配る取り組みをした。「AKB」等の略称による取り組みの浸透を図っている。 ○賀露小: あいさつがよくできた人を校内放送で紹介している。登校班ごとに毎日確認し合っている(1列に並んで来たか。進んであいさつしたか等)。地域から「学校ではあいさつするという指導をしているのか?」という問い合わせがあったくらい、実態が悪かったのが原動力になっている。 ○湖山西小: 「あいさつ」「廊下歩行」を重点にして、常時活動として各委員会で取り組んでいる。かぶり物の「OOLレンジャー」の取り組みは賛同者が拡がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「リーダー研修(仮称)を新設する。 ○実施時期 5月上旬～中旬に第1回を実施する。第2回は11月中旬を目途に考える。第3回は2月の4校交流会の折にまとめの会として実施するか、別途リーダーだけを招集するかを来年度の委員会で決定する。 ○場所 湖東中学校 ○内容 各校の取り組みの情報交換・共通して取り組んでいくことの検討と決定
心の教育			<ul style="list-style-type: none"> 人なつこい子が多いが、相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを伝えたりするのが苦手な子どもが多い。周りのことを考え、正しく判断・行動することも課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いいとこ見つけ」活動の実践 ・帰リ生活や道徳・生活の時間に「いいとこ見つけ」「O△O△い人見つけ」活動で発表を行った。付箋をはった掲示等の工夫を行ったりして、児童生徒の良さを共有し、自己有用(肯定)感を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は一部の学年にとどまっておらず、全校のものになっていない(湖東中) ・全校に定着しているが、学級の現状によって、効果に差がある。(湖東中) ・学級経営がこの活動の基盤になるので、学級経営の柱として今後も取り組んでいきたい。(湖山小) ・夏休み明けから取り組んでいるが、マンネリ化解消のための工夫が必要である。「ありがとノート」は、その一案として、取り組んでいる。(賀露小) ・各学級で取り組んだ。自己有用感を高める他の工夫として、個人のマラソンや縄跳びの回数をチームの評価に加えることで、チームに貢献できたという意識を持たせている。また、合唱コンクールにおいて、みんなで合唱を作り上げる経験も自己有用感を高めることにつながっている。(末恒小) ・今日のMVPという形で取り組んでいる。マンネリ化しないためにも活動の評価が重要である。学級だけでなく、他学年からの「いいとこ見つけ活動」にも取り組んでいる。(湖山西小) 	<ul style="list-style-type: none"> ○4・5月に全校で「いいとこ見つけ活動」に取り組み、これをハートウォームアップ「あたたかい言葉かけ活動」につなげていく。(湖東中) ○「いいとこ見つけ活動」「道徳の後の友へのメッセージ」を基盤に取り組んでいく。 ○以前湖山小にあった「あたたかい言葉」を掲示物として全学級に掲示することも今後取り組んでいきたい。(湖山小) ○賀露小にある教員のプロジェクトチームが中心になって共通実践を考えていく。(賀露小) ○「いいとこ見つけ活動」を引き続き行い、これを「あたたかい言葉かけ活動」へとつなげていきたい。「あたたかい言葉かけ活動」の基盤づくりとして、様々な場面で、「あいさつ」で声かけ、声出しを実施する。教員のプロジェクトチーム同士が連携し、実践につなげていきたい。(末恒小) ○掲示物などにより、活動の「見える化」を心がけ、子どもの意識づけをする。「いいとこ見つけ活動」を基盤に「あたたかい言葉かけ活動」につなげていきたい。(湖山西小)
生活づくり部	<ul style="list-style-type: none"> 学校内ではあいさつができる子はあるものの、地域において自主的にあいさつができない。流行や周りに影響されやすく、その場に応じた服装・身だしなみができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を律する生活態度の定着 ・あいさつ(進んで)・身だしなみ(服装等落ち着いた学校生活に適した)・掃除(黙って) 	<ul style="list-style-type: none"> 1) あいさつ…各学校ともあいさつ運動などに取り組んでいるが、なかなか成果がみられない。特に、地域の方へのあいさつ、自分から進んであいさつができていない。 2) 掃除…黙ってやるようになってはきているが、時間いっぱい集中して取り組むまでには至っていない。学級・学年によって差があるところもある。 3) 服装、頭髪…たいへん気になる子どもははなくなってきた。保護者説明会などで、フードはなるべく着ない、場に応じた服装について具体的に説明をして理解と協力を求めるようにした学校もあった。(PTA組織と連携して)中学校では、制服の下に着る服についても考えるよう指導を継続している。冬季などセーターの袖を出して手を隠さないように指導を行ってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ…相手を意識してあいさつ。地域の方へのあいさつ、自分から進んであいさつする。 ○掃除…学校全体でしっかりと、時間いっぱい黙って集中して取り組むようにする。 ○服装、頭髪…本年度の取り組みを継続していく。服装については、学校生活に適した服装とそうでない服装を具体的に保護者に提示し、理解と協力を求めるようにしたい。 		
家庭生活リズム	<ul style="list-style-type: none"> 朝食摂取率が低く、ゲーム、スマホ、TV等メディアとの接触時間が長い。その影響から起床・就寝時間が一定ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食摂取率の向上 ・「これならできそう!朝ごはんレシピコンクール」の実施 夏休みの課題として小学校高学年・中学生に与える。→10月1日KMG代表者による審査会・結果発表→各学校HP・学校だより等各通信で公表、参観日・文化祭等で掲示。 ・「朝ごはんを食べよう週間」の実施 11月に2週間朝食を摂取したかどうか点検活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「朝食摂取率向上」に焦点化し取り組んだ。 ①「これならできそう!朝ごはんレシピコンクール」 ・夏休み課題として実施。自分で朝ごはんを作ることで、朝食摂取の意識・摂取率の向上を図り、様々な能力の向上につなげることや、保護者と話し合っレシピを考えることで家庭の意識向上につなげることをねらった。 ②「朝ごはんを食べよう週間」 ・11月10日(月)～11月21日(金)の10日間実施。 ・各学級で朝ごはんを食べたかどうか点検。(成果と反省) ・手軽で一日のスタートにふさわしい朝食のレシピがたくさん提案され、意識の向上につながった。 ・校区共通アンケート結果と比較すると、わずかではあるが期間中の摂取率の数値が上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食摂取率向上の取り組みの継続(内容や質にもこだわる) ○起床、就寝時刻を守るなど、規則正しい生活習慣の確立に向けた取り組みを実施する。 		